

大阪マラソンチャリティーランにご支援を！

RAFIQ

出路晴喜(でしはるき)さん



こんにちは！大阪大学外国語学部アラビア語専攻 3 年生

の出路晴喜です！今年も、3 年連続で NPO 法人 RAFIQ

さんのチャリティーランナーを務めさせていただきます。

昨年は、私自身大学で専攻しているアラビア語の知識を生かして地元高槻市で「初心者向けアラビア語講座」を 3 回実施いたしました。近年、日本に逃れてくる難民の方の数は増加傾向にあります。難民の方々の中でも出身地として多いのがアラブ地域です。私は、より多くの人にアラブ地域について興味を持ってもらえるように「アラビア語」という言語の窓を使って楽しくアラブ地域について知ってもらうための講座を今年も一般の人向けに実施します！

第一歩、まず知ることによってアラブ地域についてさらに興味をもつことができます。身近なアラブ地域出身の方々との相互理解が深まり、社会全体の多文化共生にもつながると確信しています。

興津 慶(おきつ こう)さん



18 年前、パレスチナで難民の子どもたちと出会い、現地でお世話になったアラブの友人から「日本に帰ったら、難民のためにできることをしてください」と声をかけてもらい、その言葉を胸に歩んできました。

現在は NPO 法人 RAFIQ の活動に関わりながら、大阪マラソンのチャリティーランナーとして走っています。走ることを通じて、難民の方々を支える思いを少しでも広げたいと考えています。行政書士としても、RAFIQ でいただいた経験や繋がりを土台に、将来は難民の方々が日本で起業し、自立して暮らしていけるようなお手伝いをしたいと考えています。

三枝義豊（サエグサヨシトヨ）さん



はじめまして。大阪大学外国語学部 4 年の三枝義豊と申します。この度、ご縁をいただき、NPO 法人 RAFIQ のチャリティーランナーを務めさせていただくことになりました。

大学ではアラビア語を専攻し、中東・北アフリカ地域について学んでいます。私がこの地域に関心を持った原点は紛争でした。紛争はしばしば「勢力」や「組織」といった大きな主語で語られますが、その背景には、一人ひとりの生活が根こそぎ奪われているという現実があります。

友人を介して RAFIQ の活動を知るまで、私にとって難民問題は、恥ずかしながら「自分とは違う世界の話」でした。しかし、日本にも多くの難民の方が逃れてきており、私たちの隣で生活再建のために懸命に努力されていることを知りました。決して遠い国の話ではなく、私たちの社会の問題なのだと気づかされたので